

2017年度 カイオ・パガーノ氏 ピアノ 特別講義

1. 日 時 : 2017年10月20日(金)11時15分～16時45分
2. 場 所 : F号館 434教室
3. 対象学生【必修】 :
  - 2限 : 大学1.2年 ピアノ演奏家特別コース、大学3.4年 「専門特殊研究(ピアノ)」
  - 3限 : 大学専攻科ピアノ専攻、大学院「ピアノ指導法」  
大学3.4年「ピアノアンサンブル」受講生、短大「ピアノ音楽研究Ⅱ」  
大学「指導者基礎演習Ⅱ」
  - 4限 : 大学1.2年 ピアノコース、大学「指導者基礎演習Ⅳ」 の各受講生 学内のみ他聴講可
4. 講師紹介 : カイオ・パガーノ氏 (Caio Pagano)

1986年よりアリゾナ州立大学ピアノ科教授として教鞭をとりつつ、ヨーロッパ諸国、アメリカ、及び祖国ブラジルで900回以上ものソロ・リサイタルや室内楽、及びオーケストラとの共演を行い、その成果で数多くの受賞歴がある。Szymon Goldberg, Morton Gould, Roberto Minczuk などの指揮者と各地のオーケストラで協演。レパートリは広く、20世紀の偉大な作品の数々(Bergの室内協奏曲、Schoenbergのピアノ協奏曲、Bartokのピアノ協奏曲第2番(ブラジルでは初演)などが挙げられる。

ブラジルのサンパウロ大学でも教授を務め、2年に一度当地で国際音楽祭を開催し、数多くの芸術家と共演。また、Pierre Fournier, Janos Starker, オランダ室内楽管弦楽団、サンクトペテルブルグ弦楽四重奏団などと世界各地で共演し New World Festival(マイアミ)、 Interamerican Festival(ワシントン) などの招聘アーティストでもある。

これまでに36作品もの初演を世界各地で行い、ピアノ協奏曲を含む25作品は彼に献呈された。また、Schoenberg全ピアノ作品を世界各国の首都で演奏した最初のピアニストでもある。

ポルトガル、スイス、ブラジル、USAなどで国際コンクールの審査員を歴任。Maria Joao Piresと共に、2000年にポルトガルで Belgais Centre for Studies of Arts を立ち上げ、「Sound of Belgais」と題したCDをDeutsche Gramophonよりリリースした。また、当地のInstitute Politechnicにピアノ科を開設した。

5. 講義概要 :

～ 公開レッスン ～

2限

11:15～12:00 佐々木 英里奈(特4) ベートーヴェン ピアノソナタ第23番へ短調 op.57「熱情」第1楽章  
Erina Sasaki L.v.Beethoven Sonate für Klavier Nr.23 f-moll op.57"Appassionata"1mov.

12:00～12:45 南部 実子(演1) ショパン 12の練習曲 op.10より第1番ハ長調  
Miko Nambu F.Chopin 12études op.10 no.1 C-dur  
12の練習曲 op.25より第5番ホ短調  
12études op.25 no.5 e-moll

3限

13:30～14:15 吉村 茉莉亜(演2) ショパン ポロネーズ第7番変イ長調 op.61「幻想」  
Maria Yoshimura F.Chopin Polonaise no.7 As-dur op.61 "Fantaisie"

14:15～15:00 高奥 佳奈絵(大専) ドビュッシー 映像第2集より第3曲「金色の魚」  
Kanae Takaoku C.Debussy Images 2 "Poissons d'or"

4限

15:15～16:00 上田 悠加(特3) ベートーヴェン ピアノソナタ第21番ハ長調 op.53「ワルトシュタイン」第1楽章  
Yuka Ueda L.v.Beethoven Sonate für Klavier Nr.21 C-dur op.53"Waldstein" 1mov.

16:00～16:45 山本 菜月(演3) ショパン ピアノソナタ第3番ホ短調 op.58第1楽章  
Natsuki Yamamoto F.Chopin Sonate no.3 h-moll op.58 1mov.

※楽譜を所有している方は持参してください。